

会 議 録

会議の名称	令和元年度 第2回川越市男女共同参画審議会
開催日時	令和元年7月31日(水) 午後2時00分～午後3時40分
開催場所	川越市役所 第1委員会室
議長	副会長 森 豊吉
出席者	(副会長) 森 豊吉 (委員) 猪野晴代 門田裕子 山口日出美 大森三起子 高橋 巧 船津和信 最首洲子 坂詰靖子 小林敦子 中野 弘 (11人) (市民部長) 細田隆司
欠席者	(会長) 大橋 稔 (委員) 小野登美子 藤倉省一 高橋由香里 (4人)
傍聴人	なし
事務局職員 職・氏名	課長 小林玲子 副課長 高橋 淳 主任 山田 篤
会議次第	1. 開 会 2. 部長あいさつ 3. 議 題 (1) 中間とりまとめについて (2) その他 4. 閉 会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 第五次川越市男女共同参画基本計画中間とりまとめ ・ 第五次川越市男女共同参画基本計画中間とりまとめに関する意見

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1. 開 会 傍聴希望者なし</p> <p>2. 部長あいさつ</p> <p>3. 議 題 (1) 中間とりまとめについて 事務局より、資料「第五次川越市男女共同参画基本計画中間とりまとめ」に基づいて説明</p>
委員	<p>【基本目標Ⅰ 人権の尊重と男女共同参画への意識づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P3「1 川越市の現状と課題」2行目『浸透を図るなど、』の後、3行目『推進を図ってきました』とあり、同じ文章中に『図る』という文言が重複している。 ・P7「主要施策（1）男女共同参画の理解、意識改革のための広報・啓発」6行目『35.0%にする』とあるが、評価指標の趣旨を鑑みると『35.0%未満』または『35.0%以下』としたほうがよいのでは。 ・P8「主要施策（2）男女共同参画に関する調査・研究」※調査対象者 において、対象者全体数やサンプル抽出方法等も記載するのが一般的ではないか。 ・P10「図1-4 女性相談/DV 相談件数の推移」のグラフにおいて、DV 相談件数が女性相談件数の内訳であることが読み取りにくい。
委員	<p>P8「主要施策（2）男女共同参画に関する調査・研究」※調査対象者の注釈は、一つ前の「主要施策（1）男女共同参画の理解、意識改革のための広報・啓発」においても意識調査について触れているので、「主要施策（1）」に持っていてもよいのではないか。</p>
委員	<p>この会議において、意識調査の結果を基にして、今後の計画や対策等について検討していくということか。</p>
議長	<p>今回と次回の会議で出された意見を審議会としてまとめ、次期計画策定の基礎資料とする予定である。</p>

委員	<p>P9「主要施策（４）男女共同参画の視点に立った生涯学習等の推進」の「図１－３ 男女共同参画講座実績」において、男女別のグラフを載せている意図がわからない。文章中においても、男女別の比率については特に触れていない。</p>
議長	<p>男女共同参画に関するテーマにおいて、男女比率のデータは重要であると認識している。</p>
委員	<p>P3「１ 川越市の現状と課題」９行目『しかし、現基本計画の～』について、文末が『～達成できていません。』とネガティブな表現になっている。可能であれば、なるべくポジティブな表現を使用したほうがよい。</p>
委員	<p>【基本目標Ⅱ あらゆる分野への男女共同参画の推進】 P13「主要施策（８）事業者・市民団体等への支援の充実」において、女性の自治会長が少ないことに言及しているが、一方で、P14「主要施策（１１）地域活動等における男女共同参画の促進」においては、地域活動に参画したことがある女性が男性より１０％以上上回る結果となっている。このことから、女性は地域活動への参加経験はあるものの、リーダーになることに対しては消極的な傾向が読み取れるのではないか。</p>
委員	<p>確かに女性の自治会長は少ないと感じるが、自分が自治会長を務めた時の仕事量を考えると、かなりハードルが高いのではないか。</p>
委員	<p>P12「主要施策（７）政策・方針決定過程への女性の参画の推進」について、職員総数に占める女性職員の割合が、もともと３７．６％と少ないのだから、庁内プロジェクト会議における女性の登用率が少ないのは当然ではないか。</p>
委員	<p>庁内プロジェクト会議における女性の登用率は１１．７％である。職員総数に占める女性職員の割合が３７．６％であれば、同様の割合を目指す必要がある。</p>
委員	<p>P13「図２－２ 市内の地域活動リーダーへの女性の参画状況の推移（自治会活動）」は、『図』というより『表』ではないか。また、表の中に『単一自治会長』という記載があるが、『単一』とはどのような意味か。『単一』は削除してもよいのではないか。</p>

市民部長	『単一』は、なくても意味が通じるので、削除してよいと考える。
委員	<p>【基本目標Ⅲ 多様な生き方が選択できる環境づくり】</p> <p>P17「図3-2 生活時間の割合」に、生活時間に占める男女別の仕事や家事等の割合が示されているが、P16「図3-1 6歳未満の子どもをもつ夫婦の家事・育児関連時間の国際比較」のように、就労している人の割合を国際的に比較するような資料があれば、さらに興味深い。</p>
委員	<p>同じくP17「図3-2」について、『(注)「1分以上」行っていると回答した人の平均時間』とあるが、「0分」の人を除いた意図は何か。「1分以上」の人を母数として算出しているようだが、「0分」の人を除いて平均値を出すのはおかしいのではないか。</p>
委員	<p>P24「図3-10 母子世帯数及び父子世帯数の推移」だが、図中に単位が入っていないため分かりにくい。単位を入れたほうがよい。</p>
委員	<p>P4にある「主要施策(21)女性のチャレンジ支援」の評価指標「資格取得講座受講者の合格率」について、P25にも説明されているように、年度ごとの講座内容や資格による難易度が異なり、単に合格率のみを比較することは困難であるため、講座と受講人数の数値を目標値とは別に挙げたほうがよいのではないか。</p>
委員	<p>P18「主要施策(16)多様なライフスタイルに対応した子育て支援の充実」の評価指標に挙げられている保育園待機児童数について、川越市では平成26年以降減少しているということを知り、女性の活躍推進に対する何よりのバックアップだと感じた。引き続き、力を入れてほしい施策の一つである。</p>
議長	<p>施策の中でも、直接、市が主体となって進めていくものと、市民や企業等への啓発活動など間接的に進めていくものが混在している。</p> <p>なお、本日言い忘れた意見や時間内にまとまらなかった意見等があったら、配布された意見票に記載し、事務局に提出してもらいたい。</p> <p>【基本目標Ⅳ 男女共同参画推進体制の充実】</p> <p>意見なし</p>

	<p>(2) その他 特になし</p> <p>4. 閉 会 次回は令和元年11月頃に開催予定</p>
--	--